

国内事務局より

瀧本 規久子

夏の音楽祭が終わり、私の日々の仕事は入出金の記録、他団体との連絡、カレンダーの発送などがあります。ご寄付いただいたはがきは切手に交換してもらい、ゆうパックや手紙用の切手に使うことができ、大変重宝しています。また、9月から2019年2月までの長期のNGO向けの研修にメンバーが交代で参加し、情報共有のミーティングも行っています。

9月末には国内の基盤整備に助成をいただいたJICSさんの報告会があり参加しました。どの団体も真摯に活動されており、それを支える公益法人があり 市民による国際協力が成立していることがよく理解できました。

11月3日は「東栄フェスタ」の国際バザールというブースに寄せてもらい、ボリビアグッズやカレンダーの紹介をさせていただきました。毎年のごことで「また来たね」と温かく迎えていただき伝統の祭りの踊りを見、五平餅を食べよい一日でした。

今年は10月上旬にカレンダーが出来上がったせいか、ほとんど手元には残っていません(11月末現在)

また 野口沢様(ご主人がボリビアの方)のご厚意で 来日中のボリビア人のご友人が100冊のカレンダーを預かってくださり、里子さんの元まで届けてくださいました。別に一時帰国のクランベルよしこ様も20冊ボリビアまで届けて下さいました。国際郵便で送った去年のカレンダーは結局行方不明になり、今年はどうしたものかと思案していたので本当に感謝します。

どうか 来年も笑顔がいっぱいの一年になりますよう祈ります。



(写真は東栄町の東栄フェスティバルにて)

